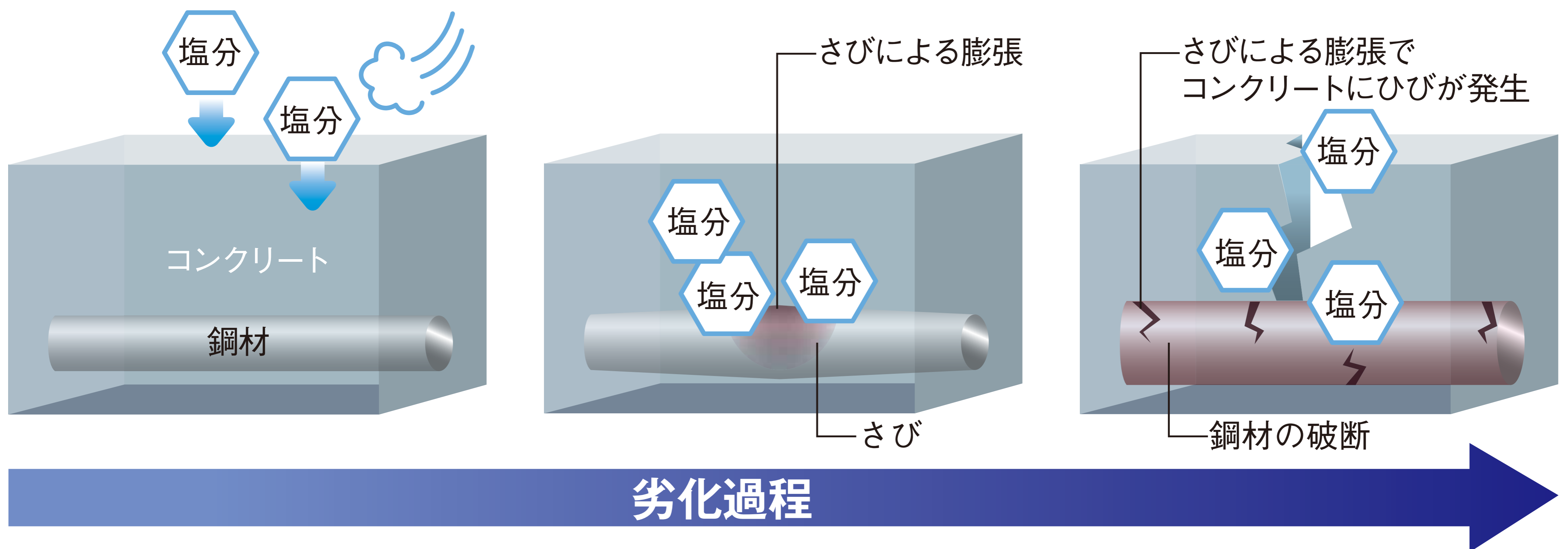


塩分の浸透で 鋼材が腐食

日本ではコンクリート橋が海岸に面して建設されることが多くあります。しかし、冬の季節風や台風による潮風にさらされてコンクリート内部に塩分が侵入し、中の鋼材が腐食する場合があります。また、雪国では、冬季の交通を確保するために融雪の塩が散布されることで、同様の損傷が発生します。

塩害のイメージ



中の鋼材が腐食し、コンクリートが剥がれ落ちたところ

